

令和7年度 自己評価および学校関係者評価書

令和8年2月26日
函館市立神山学校

1 本年度の重点教育目標

進んで考え たくましくやりぬく子
～最後までやりぬく活動を通して、自主性と心身のたくましさを育む～

2 本年度の取組の重点

- 【施策1】学力向上……①「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
②ICTの効果的な活用
- 【施策2】豊かな心……③道徳科の授業の充実
④不登校児童に対する支援
- 【施策3】健やかな体…⑤食育の充実や体力向上を図る取組の充実
- 【施策4】業務改善……⑥教職員における業務改善の一層の推進
- 【施策5】地域連携……⑦学校運営協議会（CS）を核とした地域と連携した取組の推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善方策の評価	主な意見（改善策など）
施策1	①基礎・基本の定着を図る学習指導や授業改善を進めることができたか。	b	全国学力・学習状況調査の分析をもとに、児童の課題を全教職員で共有し、改善すべき点を重点的に取り組んだ。	A	A	
	②一人一台端末を効果的に活用した授業実践を進めることができたか。	b	日常的な活用を継続するとともに、教師のスキルアップを図るための研修を実施した。	A	A	
施策2	③心に響く道徳科の授業実践を通して、いじめの未然防止や子供に寄り添う教育実践を行うことができたか。	b	「いじめは絶対に許されない」という基本認識のもと、未然防止と早期発見・早期対応を組織的に取り組むとともに、道徳科の授業実践について、外部研修等を活用し、研修を深めた。	A	A	
	④不登校児童に対する教育的ニーズの把握に努め、不登校解消の取組を推進することができたか。	a	子ども支援委員会、不登校児童支援コーディネーターを中心に、個別のニーズに応じた支援を検討し、丁寧かつ迅速な対応を組織的に取り組んだ。	A	A	・登校しぶりが減ってきたとのことで、喜ばしいです。一人でも多くの子が笑顔で友達と学べる環境が整うことを願っております。
施策3	⑤食育や、体力向上に向けた取組を工夫し進めることができたか。	b	保健や食に関する指導、外部講師の活用、食育・保健日より等を通じて、健康への関心を高めることができた。	A	A	・チーム担任制はすごくいい取組です。児童館に来る児童の口からも、先生方への不満や文句が激減しました。 ・チーム担任制は、保護者からはいい面と難しい面があると聞いています。よりよい取組になりますように。
施策4	⑥学校における業務改善に向けた取組を進めることができたか。	a	業務の見直しや、授業準備の時間の確保に継続的に取り組んだ。また、チーム担任制・教科担任制を導入し、授業の質の向上や業務の平準化、組織的な生徒指導対応等につなげた。	A	A	
施策5	⑦CSへの理解を深めるとともに、地域や幼保小中の連携をさらに深めることができたか。	a	地域の幼稚園と積極的に交流を進め、幼・小の連携を深めることができた。また、学童や児童館と情報交換を行い、指導に生かすことができた。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。